

## 4 陳情第 23 号

4 陳情 第 23 号	住宅街への落下物の根本的解決のために羽田新ルートを撤廃して海上ルートに戻すように国に対して意見書をあげてことを求める陳情
付託委員会	環境建設委員会
受理及び付託 年 月 日	令和4年6月3日受理、令和4年6月10日付託
陳情者	新宿区新宿 _____ _____ _____

## ( 要 旨 )

3月13日、渋谷区での氷塊落下は、上空飛行中の旅客機からの可能性が極めて高く、羽田新ルート下の住宅街への落下物の根本的解決は、以前の海上ルートに戻すことであると国に意見書を提出してください。

## ( 理 由 )

羽田新飛行ルートを降下中の航空機から3月13日、渋谷区内のテニスコートに氷塊が落下した疑いがあるとして、国土交通省が事実関係を調査しました。飛行ルート下の住民からは、かねてより騒音とともに落下物が心配と不安の声が上がっていました。

渋谷区によると、14日夕、区役所に匿名男性から「13日午後3時半ごろ、区内のテニスコートに航空機から小石くらいの氷塊が落下した」と電話があり、国交省に連絡したとのことです。国交省は、この時間帯に新ルートを航空機が降下したことを認める一方、「事実関係を調査したところ航空機からの落下物とは断定できない」としています。氷塊は13日午後3時半ごろ見つかりました。当時コートにいた男性によれば、「ポトツ」と音がして仲間と周りを見渡すと、きらきら光る氷が直径5メートルほどの範囲に3～4個落ちていたとのことでした。「プレー中にコート上空を飛行機が飛び始めたのが分かった。氷塊を落としたのは飛行機しか思い当たらない」と話しています。

3月13日当日の天気は薄曇りで当時の気温は18.3度で、気象状況からも雹が降ることはありません。飛行ルートから350メートル離れているとはいえ飛行している旅客機からの落下物は速度もでて風向きによっては大きく流されます。2017年9月のKLM航空機の4kgのパネルは、航路から3.7km離れたところに落下しました。成田空港周辺でも氷塊が何度か確認されています。旅客機からの落下物でなければどのようなことに由来するか説明がつくのでしょうか。

羽田新飛行ルートは、これまで騒音とともに落下物の危険性については指摘されてきました。根本的な解決は、以前の海上ルートに戻すことです。